

iBeacon端末 書き込み手順書

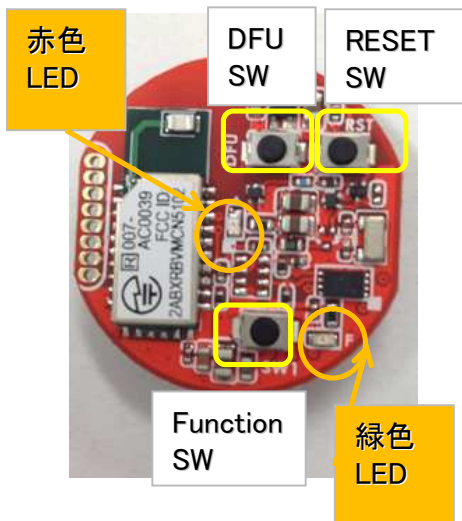
Light Blueの準備



- ・各パラメータ設定するツールとして、Light Blueを使用します。
- ・AppストアからLight Blueをダウンロードしてください。

※Light Blueは無料アプリとして公開しているソフトです。
Braveridge製アプリではございません。
暫定的にご利用頂ければと思います。

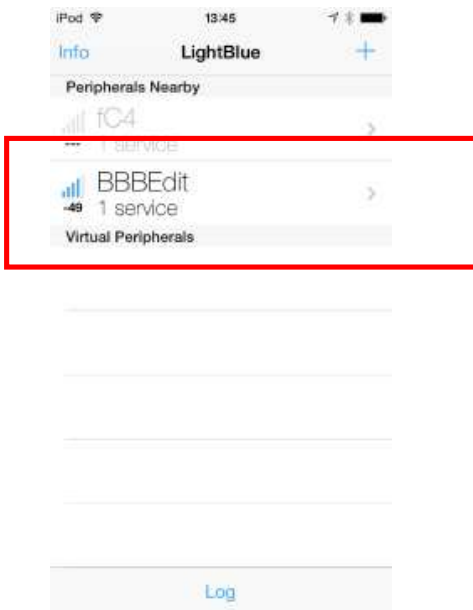
各パラメータ設定方法



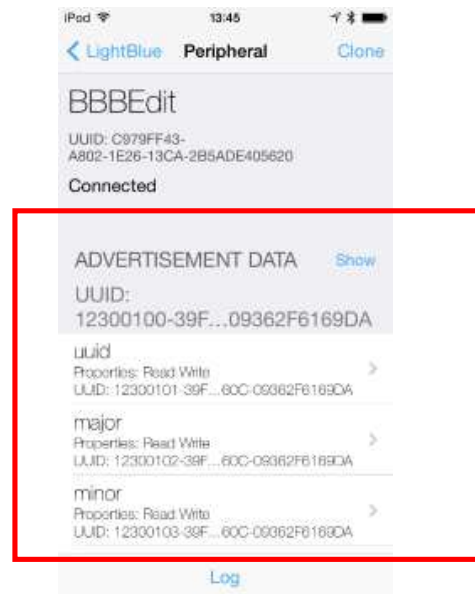
1. Beaconのケースをあけます。
2. 基板を回転し、取り出します。
(基板のくぼみと、
ケースのツメが合うようにして取り出してください。)
3. 本体に電池を入れます。
4. 基板上のFunctionSWを押しながら、RESET SWを押下。
5. 緑色LEDが点灯するのを確認します。
6. Light Blueを起動します。
7. BBBEditと表示されるデバイスを選択します。

Light Blue操作

7. BBEditと表示されるデバイスを選択



8. Serviceを選択します



9. Characteristicsを選択



←プロフィール仕様のUUIDが表示されます。
変更したいパラメータを選択します。

Characteristicsに関して

UUIDの上八桁目でCharacteristicsを判断します。

Ex)12300100-39FA-4005-860C-09362F6169DA



Characteristics	UUID上八桁目
UUID_DATA	1
MAJOR_DATA	2
MINOR_DATA	3
RESET	4
TX_POWER	5
ADV_INTERVAL	6
DEVICE_ID	8
MEASURED_POWER	9
HEADER_DATA	A

Characteristics:UUID_DATA

Proximity UUID(128bit)を指定します。

Characteristics:MAJOR_DATA

MAJOR値(16bit)を指定します。

Characteristics:MINOR_DATA

MINOR値(16bit)を指定します。

Characteristics:RESET

システムリセットを行う時にWriteします。
リセット時は0x01を指定します。

Characteristics:TX_POWER

TxPowerを指定します。
指定可能なパラメータは以下のとおり。

パラメータ	TxPower
0x00	0db
0x01	+4db
0x02	-4db
0x03	-8db
0x04	-12db
0x05	-16db
0x06	-20db

Characteristics:ADV_INTERVAL

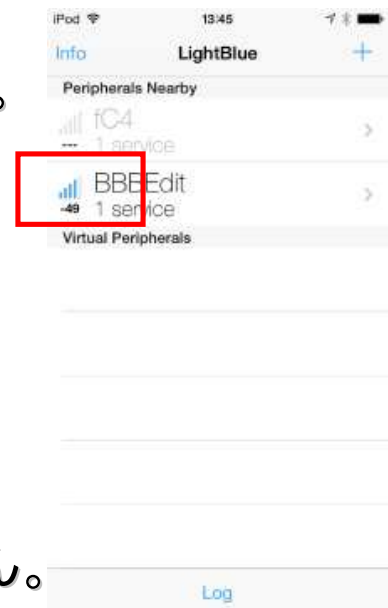
アドバタイズインターバル(16bit)を指定します。
0x00A0～0x4000までの間で設定可能です。
(100msec～10.24secまで設定可能)
計算式: インターバル時間 = 設定値 × 0.625

Characteristics:MEASURED_POWER

本値に関しては、環境によっても異なってまいりますので、実測の上、設定下さい。

Light Blueを使用し、
iPhone 5Sで以下によって測定した値を設定します。

- 1.iPhone 5Sを縦向きに固定します。
- 2.1メートルの距離で10秒間RSSIをサンプリングします。
- 3.RSSIサンプルの最高値から10%のデータと最低値から20%のデータを破棄します。
- 4.残ったデータの平均値を設定します。



Characteristics:HEADER_DATA

iBeaconの場合、0x004C0215固定です
Andoroid仕様はまだ公開されていません。

Characteristics:DEVICE_ID

Device IDを取得します。
Device IDは8byteのデータになります。

Light Blue操作

10. Writeボタンを押下します。



11. データを入力し、Doneボタンを押下します。



12. RESETのCharacteristicsを選択し、0X01を入力し送信します。

13. 緑LEDが消灯し、設定が反映されます。

不明点ございましたら下記連絡先へ
お問い合わせ下さい。



加賀デバイス株式会社

〒101-0021 東京都千代田区神田松永町20番地
TEL:03-5657-0144 FAX03-3254-7173
Email: furukawa_hf@kgdev.co.jp

担当: 古川
